

今月の特集関連本

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.1027) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



『medicina』2018 年増刊号 (Vol.55 No.4)

プライマリ・ケアでおさえておきたい

重要薬・頻用薬

本体 7,200 円 + 税 / B5 判・512 頁 / 医学書院 / 2018

きょうだい誌『medicina』の最新の増刊号でも「薬」を総特集。そのほか、薬物治療を扱った雑誌特集を以下にご紹介します。

日常診療で内科医自身が処方する「頻用薬」のほか、受け持ち患者が使用中の薬も含め、幅広く使われている薬剤を内服薬中心に、知っておくべき注射薬や抗がん剤など「重要薬」について解説。プライマリ・ケアを担う一般内科医・研修医の薬のアップデートはもちろん、同種薬の使い分けや、使用経験の少ない医師へのメッセージも盛り込んだ。実臨床に役立つ内容は、マニュアルとしても活用したい。



『medicina』2018 年 3 月号 (通常号) (Vol.55 No.3) 特集

クリニカル・クエスチョンで学ぶ

循環器薬の使い方

本体 2,600 円 + 税 / B5 判 / 医学書院 / 2018

循環器疾患を総合内科で診ることは多い。高血圧・脂質異常症・心房細動・心不全などのコンディージーズの薬物療法では適切な治療・管理のために薬の知識が必要となるが、エビデンスは次々に蓄積あるいは変化し、新薬も多く難解である。本号では、クリニカル・クエスチョン形式で循環器薬の疑問・悩みを明確に示し、要点を読み解きやすくまとめた。



『循環器ジャーナル』(Vol.66 No.1) 特集

循環器診療 薬のギモン

エキスパートに学ぶ薬物治療のテクニック

本体 4,000 円 + 税 / A4 判 / 医学書院 / 2018

循環器疾患のさまざまな病態を診察する時に、臨床現場から聞こえてくるクリニカル・クエスチョン—ギモン—に、エキスパートが回答する。難しいとされる心不全に対する心筋保護薬、強心薬、利尿薬の使い方をはじめ、高血圧、虚血性心疾患、不整脈、肺高血圧症など、内科クリニックでコントロールすることの多い疾患での薬剤選択、治療の勘どころを、循環器診療を取り巻く最新情報に触れつつ、学べる！